

# 第27回関東甲信越糖尿病セミナー案内

## セミナー代表世話人



### 河津捷二支部長

近年、日本でも食生活や生活習慣の欧米化による日常生活の乱れが叫ばれています。それと同時に、メタボリック・シンドロームや糖尿病予備群という言葉も良く耳にする様になりました。

そして、本年度からは「特定検診・特定保健指導制度」も開始されました。

年々、糖尿病患者が増加して行く中で、糖尿病治療に大切なのは早期発見、早期診断、早期治療、そして糖尿病に対する正しい知識を身に付け、自ら療養を実行に移す事です。

このセミナーを通して、少しでも多くの方々が糖尿病に対して興味や関心を持ち、理解を深めて頂ければ幸いと存じます。多数の方の御来場を、心からお待ち申し上げます。



### 磯松幹夫会長

今回は糖尿病対策の一環としてセミナーのテーマを「一病息災の生活で自己管理」といたしました。

糖尿病に関する予防と治療、療養指導などの情報発信の場であり、中身の多いセミナーとなっております。同時に糖尿病とメタボリックシンドロームに関する「なんでも糖尿病相談会」も開催いたします。生活の自己管理の方法を学び体験し、今後の活動発展に寄与できる内容です。皆様が病気に対する問題点を理解して、お役立て頂ければ幸いです。

主 催 社団法人日本糖尿病協会関東甲信越地方連絡協議会  
社団法人日本糖尿病学会関東甲信越支部

後 援 埼玉県 さいたま市 埼玉県医師会 埼玉県糖尿病対策推進会議

代 表 日本糖尿病協会埼玉県支部 会長 磯松幹夫 支部長 河津捷二

日 時 平成20年11月16日（日）午前9時30分～午後4時30分

会 場 大宮ソニックシティー「大ホール・小ホール」

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-2

TEL048-647-4111 FAX048-647-4159

参加費 500円（医療スタッフのみ）

対 象 糖尿病患者およびその家族、そして関心のあるすべての方々。

医師、看護師、保健師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、その他

事務局 〒350-8550埼玉県川越市鴨田辻町1981 埼玉医科大学総合医療センター内分泌糖尿病内科 内

日本糖尿病協会埼玉県支部 事務局長・大村栄治 事務担当・横田、形見

TEL/FAX049-228-3808

## テーマ 「糖尿病で一病息災」 2008年11月16日（日）

### ◆第1会場（大ホール）：一般向け

- 9：30 開会挨拶 磯松幹夫
- 9：40 基調講演（Ⅰ） 司会 金澤康徳  
「楽しい糖尿病教室～糖尿病とはどんな病気？どうしたらよいの？」糖尿病とはどんな病気か、そしてどのように対処すべきか？（演者）坂根直樹
- 10：30 基調講演（Ⅱ） 司会 片山茂裕  
「楽しい糖尿病教室～1に運動ですよ」（演者）金子嘉徳
- 11：10 基調講演（Ⅲ）（司会）川上正舒  
「楽しい糖尿病教室～2に栄養ですよ」（演者）金胎芳子
- 12：10 ランチョンアワー  
（総合司会）鈴木裕也 矢澤麻佐子  
竹内恭子 秋山有代 鏡美紀 その他の皆さん
- 13：00 特別アワー  
（司会）伴野祥一「さかえ」編集委員長  
「私と糖尿病」「糖尿病だよ！おっ母さん他ミュージックライブなど」出演：俳優・声優 安西正弘
- 14：40 シンポジウム（司会）犬飼敏彦 川崎淑枝  
「糖尿病の自己管理のテクニックは？：糖尿病で一病息災」  
シンポジスト 根岸清彦 佐藤敏子 戸谷仁子  
木内恵子 遠藤敏彦  
（発言）患者より：堀口時子 安斉美佐子 嶋田俊雄
- 16：20 閉会の辞 河津捷二

### ◆第2会場（小ホール）：医療スタッフ向け

- 9：50 開会挨拶 竹村喜弘
- 10：00 レクチャー（Ⅰ） 司会 栗田卓也  
糖尿病の臨床病態—その段階をどう捉え、どう対処するか（演者）丸山太郎
- 10：40 レクチャー（Ⅱ） 司会 石橋俊  
糖尿病治療の新しい展開—そのエッセンス（演者）犬飼浩一
- 11：20 レクチャー（Ⅲ） 司会 成宮学  
糖尿病の合併症をどう防ぐか（演者）麻生好正
- 12：20 ランチョンレクチャー 司会 井上郁夫 志村美雪  
「教育入院・専門外来から学ぶこと：医療スタッフとして」（演者）松田彰 村岡知美
- 13：30 特別レクチャー 司会 今井康雄  
「糖尿病教育、そしてチーム医療の原点：CDEの活躍を期待して」（演者）斉藤宣彦
- 14：20 パネルディスカッション  
司会 植田太郎 生井一之  
「これからの療養指導のあり方は？我々は何をどうすべきか？」  
栗原進 小関紀之 柳沢守文 雨宮伸 田中佑司
- 16：20 閉会の辞 大村栄治